

糖尿病と合併症



麻生好正教授

日本の糖尿病患者数は
増加の一途をたどり、2
016年の統計結果か
ら、約1千万人の時代に

放置すれば寿命まで短縮

糖尿病は特に細い毛細血管が多い臓器の腎臓、目の網膜、末梢神経の三つが害され、それぞれ腎不全（人工透析）、失明、足壊疽（切断）に至つてしまふのです。実は、栃木県は糖尿病から人工透析になる患者数がいつもこうに減らず、全国平均を上回っています。

急性心筋梗塞は、健常者に比べると2～4倍、脳血管障害（脳梗塞なども）も2～3倍多いことが報告されています。 栃木県は以前から、脳血管障害の発症が多い県として知られていますが、このまま肥満の人、糖尿病の患者さんが増加すると輪をかけて心筋梗塞や脳梗塞が増えることが心配されます。 どうしたらよいのか？ まずは必ず年1回は健診を受けて、糖尿病の検査をすることです。血糖とヘモグロビンA1cの検査をして、糖尿病があるのかを調べましょう。 そして糖尿病と指摘されたら、絶対に医療機関を受診して、治療を始めてください。

糖尿病の初期は自覚症状がほとんどありません。そのため、糖尿病を軽く見て、せっかく診断され受診を勧められても無視してしまう人が結構

県民の皆さんか病気知らずで健康寿命を全うできることをお祈りし、筆を置きたいと思います。



20

突入したことが明らかにされました。

糖尿病を早期診断、早期治療できず、そのまま放置すると大変な合併症を生じ、生活の質が悪化し、寿命まで短縮してしまいます。なぜなら糖尿病は全身の血管の病気なのです。細い血管から太い血管まで侵されま



イラスト/ 小林隆一 SHIMOTSI IKE GRAPHICS

いるのです。前に述べた
ように、糖尿病を放置す
ると全身の血管が侵され
てしまします。